



機能性ディスペプシアを 知っていますか？

国内では10人に1人にある病気とされ、新たな国民病として注目されている「機能性ディスペプシア」。かつて機能性ディスペプシアは、慢性胃炎、神経性胃炎と呼ばれ、胃や十二指腸の検査をしても異常が見られないにも関わらず、胃の不快な状態が続き、「気のせい」と言われることも少なくありませんでした。しかし、このような胃の不調は日常生活に支障をきたす疾患だとして、2013年より健康保険による治療の対象になりました。



保健師：山口

✓ 機能性ディスペプシアの症状・原因は？

症状

- すぐにおなかがいっぱいになる早期満腹感
- 胃もたれ
- 胃の痛み
- 胃が熱くなるしゃく熱感



原因

強いストレス



✓ 機能性ディスペプシアの治療法



「胃酸分泌抑制薬」「アコチアミド」漢方の「六君子湯」などを使用します。特に不安感が強くそれが影響している場合には、「抗不安薬」や「抗うつ薬」を使用する場合があります。



ストレスをできる限り溜めない！

機能性ディスペプシアは良性の疾患で、予後は良好だと言われていますが、QOLを大きく損なうため、治療法に悩まれている方や、「気のせい」「精神的な問題」と言われ、お困りの方も多いためです。症状があれば医師へ相談しましょう。

